

会議の概要(議事録)

会議の名称	(番号) 3-08	平成28年度第12回すみだ環境共創区民会議		
開催日時	平成29年3月16日(木) 18時30分から20時20分まで			
開催場所	墨田区役所12階 122会議室			
出席者数	【委員13人】 阿久沢委員、宇田川副会長、小木曾委員、佐野委員 島崎委員、清水副会長、永岡会長、本間委員、森下委員 柳委員、横井委員、吉田委員、渡辺委員 【事務局3人】 環境保全課長、環境管理担当主査及び職員			
会議の公開 (傍聴)	公開(傍聴できる)	傍聴者数	0名	
議題	1 任期を終えての反省・感想について 2 来期の活動計画について			
配付資料	すみだ環境の共創プラン進捗状況評価資料			
会議概要	<p>1. 当日の会議内容</p> <p>(1)任期を終えての反省・感想について 各委員から任期を終えての反省や感想、翌年度に向けた展望等の発言があった。</p> <p>(2)来期の活動計画について 来年度の委嘱を受ける前ではあるが、来年度の活動を円滑に進めるためにどのようなことが必要かについて検討した。</p> <p>意見交換における主な意見 (:事務局発言 委員発言)</p> <p>任期を終えての反省・感想について 今期は最初の年が共創プランの検討をおこない、2年目は荒川について調査した。区民会議の意義を考えさせられた2年間だったと思う。第二次プランを策定して目標値を設定したが、皆さんの思いとしては目標値をもっと高くしてもらいたいと思ったのではないかと。区側としても約束できない目標を設定することはできないという事情は分かるが。</p> <p>2年目の荒川については、区民会議で活動テーマを決めて、区民会議で行動するというのができたので、非常に良かったと思う。環境フェアでも皆さんの想いを聞くことができ、今後どのようなことをするかという考えを練るところまではいけなかったのが残念である。前の任期でも、水・ごみ・緑に分かれて議論するという取り組みは良かったと思うが、その結果を活動に活かせていない。得た結果をどのように区民会議に反映させていくかに</p>			

については、期をまたいで行動するという事も視野に入れて、今後も考えないといけないと思う。

当初は墨田区の環境のことを何もわからない状態だったが、いろいろ学ばせて頂いて本当に勉強になった。環境フェアやすみだまつりを通して、年々展示内容が発展していき、区民とコミュニケーションを取れるような展示内容になったのは素晴らしいと思う。一番印象に残っているのは、区民会議で「がすてなーに」に見学に行き、エコクッキングに参加したことである。

長いこと参加しているが、区民会議もだいぶ変わって来たなと感じた。環境フェアやすみだまつりで来場者の意見を聞いて、いろいろなことを啓発していこうという方向性が出てきたのは良かった。ただ、展示をして参加者に説明をするうえでは、現地調査の機会を増やしたり、調査の参加者を増やしたり、もっと専門的な知識を共有できる機会を持った方が良かった。

会議に参加させていただいて、普段から環境問題を意識していても、新しく気づかされることがたくさんあったと感じる。6年間区民会議で多くの事を学ばせて頂いた。私は今期で退任するが、必要な時に区民会議のお手伝いができると思うのでこれからもよろしくお願ひしたい。

家の近くに荒川があり、身近に感じていたが、今年一年荒川について調査して、その意義を再認識することができた。区民会議に参加する前は共創プランも知らなかったが、本当に多くの事を学ばせて頂いたと思う。私はマンション住まいであるが、管理人がきちんとかみや資源の分別をしてくれており、それがすごく良いことだということもよく分かった。私も同じく今季限りで退任するが、身近で環境に対して取り組めることはたくさんあるので、そういったことは区民会議を退いても続けていきたい。

一年目に第二次すみだ環境の共創プランの検討をしたのが印象的である。ここ数年、地球温暖化や省エネに関する世間の関心が薄れているように感じられるので、区民会議として啓発にもっと力を入れていく必要があると感じた。

環境フェア等で区民会議のPRをしたこともあり、認知度が少しずつ上がってきたのではないかと思う。墨田区は隅田川と荒川に挟まれた地域なので、今年一年間荒川について調べ、区民の方に周知できたのは良かったと思う。今年東京マラソンがあったが、墨田区以外からも人が来て、あれだけ人が集まったということに驚いた。人が増えるということは、区がまちの美化や緑化等にも力を入れることにつながるのだから、引き続きあのようなイベントを通じて環境が良くなるとよいと思った。

区民会議に入って様々な分野の人と話ができ、いろいろな発見ができてとても楽しく活動させていただいている。環境フェアやすみだまつりで、区民の皆さんとの会話やつながりがあって環境問題は前進していくのかなと感じている。来期も楽しく勉強させていただきたいと思う。

自分自身が、何ができるのか考えながら活動を続けてきた。退任される皆様には様々な面でお世話になったという思い出ばかりである。今年は荒川というテーマで活動してきたが、フィールドワークは大変勉強になったと感じている。今年は去年と違って、区民会議自体のPRができなかったように感じるので、区民会議の存在を知ってもらい、区民と区民会議が一緒になって環境を良くしていくということを意識して、来年度以降も活動をしていきたいと思う。

来年度も委員を続けます。この会では、やりたいことがたくさんあるが、時間的な制約があり、その全部を実施することはできなかった。ただ、2年間様々な活動をして、非常に楽しく活動できたので良かった。今年は荒川をはじめとする水環境について調査を行ったが、エネルギーは原子力から水素に変わりつつあり、水というのが一つの大きな社会変革になるのではないかと。そうした意味では今年の活動は今後生きていくのではないかと。引き続き、世の中の流れに合わせた活動を実施することが必要である。

今季で10年目になるが、活動の成果を環境フェアやすみだまつりに活かすという、継続した活動ができるようになったというのは大きな前進であると思う。今後も、区民会議と行政と協働していくことが必要である。毎年プランの進捗状況評価をおこなっているが、行政が評価すると無難な結果になってしまい、意味のないものになってしまうのがよくない。評価方法や、そもそも評価をすること自体が必要なのか、改めて検討する時期ではないか。

また、今年は定例会議と自主会議がはっきりと分かれていたので、定例会の時をもっとテーマの下調べや活発な議論ができるとよかったと思う。

区民会議の会長は審議会の委員を兼ねているので、先ほど出た評価については、ABCの評価ではなく、何をやったかを評価するように意見をさせていただきたいと思う。

2年間、私自身は楽しく活動することができたが、同時に、区民会議の役割は何かということについてもずっと考えていた。区民にそれを理解してもらうために、環境フェアやすみだまつりでは区民レベルまで降りて行って活動することが必要だと感じた。

今期は「環境にやさしいすみだとは何か」について議論したことがあるが、確か結論は出なかったと思う。プランの実現に向けては、今後も議論することが必要なテーマである。また、進捗状況の評価では、何を評価するのか、何のために評価するのか、ということについて今一度考える必要がある。先ほど本間委員が自分のマンションの管理人が環境活動をしているという話をしていただいた。そういった取り組みを広げることが必要であり、そのリーダー役に区民会議がならなければいけない。

区民会議は任期をもって解散ではなく、また新たな期がスタートする。今年の反省は来期の糧として、期をまたいで活動が継続していけると良いと

思った。

来年の活動計画について

先ほどの議論の中で、継続した活動の必要性についてみなさん言及された。そこで、6月の環境フェアまでの活動をスムーズに実施するために、フェアまでの暫定の会長を決めたいと思っているが、いかがか。

今、会長が話したことについて補足をさせていただく。この会議は税金で運営されており、委員の皆様も忙しい中時間を割いて参加しているので、効率的に会を運営することができる方を当然選出する必要がある。また、環境フェアを念頭に置くと、4～6月の活動をスムーズに進める必要がある。そのためには、今期の活動内容等を分かっている方に環境フェアまで区民会議を引っ張っていってもらい必要がある。そのため、来期の会長は来期決めるが、暫定的なリーダーのような存在を決めておくべきではないかということである。

要綱には「会長は委員の互選で決める」と書かれているので、そこは守らなければいけない。ただ、ワーキンググループのようなものを立ち上げて自主的に動くということであれば、それは構わない。

来期の活動をすでに決めてしまうことは、新しく入ってくるメンバーに失礼なのではないか。活動内容は来期になってから一緒に考えていくべきである。確かに継続という考え方は大切だが、来期やりたいことがあるのであれば、考えをまとめておいて、4月の会議で発言するべきである。

私が言いたいのは、新しく加入される方がスムーズに区民会議の活動に参加できるようにするために6月の環境フェアに向けて、やることを決めましょうという話であり、一年間すべてのスケジュールを今決めるということではない。期が変わるたびに夏前までスケジュールの検討をしているようでは、2年間という任期を十分に生かすことができない。現に6月の環境フェアの実績を見ても、例年「準備不足だったという」感想が多い。

毎年環境フェアが終わるたびに、今年は何が良くて何が良くなかったので、来年はこのようにしましょうと、まとめる習慣を作ればいい。また、普段の会議の中で各委員が問題意識をもって会議に臨み、きちんと議論ができていれば、そもそもワーキンググループというものも必要ない。

この2年間を引き継ぐという話が出ているが、それは条例等を変えて任期を4年にするなり、別の方法があるのではないか。現状では2年という任期で区切られているので、2年が終わってまた新たな2年が始まるという考えでなければおかしい。来期のことは、来期の委員が決めるべきである。

私は公募で区民会議に参加したが、委員の出身母体のつながりが多く、初期の頃は非常に戸惑った。なので、今度新しく参加してくれる委員の

	<p>人には同じ思いをさせたくない。せっかく参加したのに活動内容は既に決まっているとされたら、やる気がなくなってしまうし、新委員と旧委員で壁ができてしまう。</p> <p>各委員の意見をまとめると、4月に委嘱を受けてから会長の選出等をおこなうが、来期も継続する委員においては、活動内容の案を考えておいて、4月の会議で発表・議論するという事になったので、よろしく願いたい。</p> <p>その他</p> <p>環境フェアの実行委員を務めているが、6月の環境フェアで実施しているスポーツゴミ拾いで、ルール違反を行うチームが多いと苦情が出ている。そのため、例年参加してもらっている区民会議に審判として協力してほしいと依頼が来ているので情報提供する。決めるのは来期の委員になるが。</p>
所 管 課	都市整備部 環境担当 環境保全課 環境管理担当 内線 5463